

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どんぐりハウス			
○保護者評価実施期間	R7 年 12月 22日 ～ R8年 1月 9日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	14
○従業者評価実施期間	R7 年 12月 22日 ～ R8年 1月 9日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 6日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画に基づく個々の特性に合わせた療育の提供や相談支援を行います。	1人1人の特性に合わせた課題を指導員で共有の認識をもち楽しく通所できるよう活動等を取り入れています。	職員間の連携や関係機関との連携を図り情報共有し、作業療法士や公認心理師からの個別療育を行っています。
2	ことばの困りごとに対応できます。	月に一回、外部の言語聴覚士が来所し言葉や発達のお困りごとに対してアドバイスを頂き、個々に合う支援を行っています。	お子様や保護者様のお困りごとをお聞きし必要に応じ面談や言語聴覚士による検査を行います。また、アドバイスを活かした支援を行い言葉の発達を促していきます。
3	保護者様との連絡の充実	日々の活動の様子を分かりやすくお伝えしています。また、お子様のご様子や保護者様からのご相談に対応できるようにしています。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会・見学会等の交流機会の提供が少ない。	時間的な問題などで機会を提供できませんでした。	今後は保護者会や研修・親子での活動などを検討していきます。
2	学校や地域との交流が少ない	同法人内での小規模保育園の合同活動ができませんでした。また、利用児様の通われている学校との情報共有が足りず、時間等の問題により地域との交流もなかったです。	今後は保育園との合同活動を計画していきたいと思います。また、利用児様の通われている学校と情報共有等の連携を図り、地域交流の場を設けられるように検討していきたいと思います。
3	事業所が狭い	利用者の人数や個々の特性の対応により部屋が狭く感じられることがあったと思います。	個々に合わせた活動や野外活動を取り入れていきたいと思っています。